

# 新エネルギー事業発展の一年に

## 新会長就任 職場に「安心感」醸成したい



太陽光追尾式架台システムの模型を前にその魅力を語る佐藤新会長

現場代理人会会長  
佐藤 守 (31歳)



昨年末、現場代理人会会長選挙で選出された佐藤は「浮かれることなく一歩一歩ステップアップを」とあいさつした。

「真価を問われる一年」。それが本郷工業にとっての2018年となりそうだ。佐藤は昨年末に行われた現場代理人会会長総選挙で当選し、今年一年、現場代理人会運営の指揮をとることに。再生可能エネルギー事業の中心メンバーとして現場に立ち、商品化を目指して取り組んできた。太陽光発電以外の自然エネルギーへの取組も始まっている。本郷工業の2018年とは。佐藤新会長の展望を聞いた。

**挑戦の年から成果の年に**  
「2017年は挑戦する機会をたくさんもらった年。2018年はそこで学んだこと、身に付けた力を着実に現場で発揮していきたい。浮かれることなく一段一段ステップアップしたい」と抱負を述べた。この一年、太陽光発電事業の主力メンバーとして、草津市、甲賀市、大津市、

米原市と県内各地に追尾式架台システムを設置してきた。いずれも、商品化直前のプロトタイプだったが、土山町に商品化した一基を完成させた。架台システムの精度は言うまでもなく、現場の造成から全てに仕上がりの品質を追求し、自信を持つことができた。満を持して、今年から本格的に販売、建設がはじまる。「今年一年の販売目標は30基。すでに20基は販売先が決まっている」。佐藤のスケジュールの大半はすでに埋まり始めている。

### 初の高圧発電所の完成

2017年の挑戦は追尾式架台システムの商品化だけではなかった。太陽光パネル数が2,000枚、発電量50kWh以上と、通常の8倍から10倍規

### 各自最高の力を発揮する一年に

2017年に取り組んだ「追尾式架台システムの商品化」と「高圧発電所の建設」は、本郷工業が推し進める太陽光発電事業の確かな手応えとなった。同時に同事業の中心メンバーとして現場を引っ張ってきた佐藤にとっても、大きな自信となっている。今、現場代理人会会長として、一つの想いがある。「昨年は難しい仕事に挑戦したが、何かあっても誰かがサポートしてくれたい、相談もできた。不安や悩みを共有してもらえ、『安心感』の大切さを痛感した一年でもあった。自分の現場は自分が判断し動くのが現場代理人だが、そこにいたる過程で、もっと『安心感』を得られる取組みをしたい」。現場代理人の食事



寒風吹き抜ける現場で太陽光発電を設置する佐藤

会や、会社全体の食事会などを開催して、互いの絆をもっと深める機会を設ける、という。「日頃、自分一人で抱えてしまいがちな悩みや不安も、会社を離れた食事会などでは話しやすくなる。誰かに共有してもらうだけで、一人一人が安心感を持って働くことができる環境になるはず。組織として最高のパフォーマンスを発揮できる2018年にしたい」と力を込めた。2018年、本郷工業の全員が自分の力を発揮したとき、新事業が大きく発展していると信じている。



本郷工業が自社開発した太陽光追尾式架台システム。巨大太陽光パネルを支え、発電効率を最大化する。

模の高圧発電所の建設を大津市内に着工し完成させた。高圧発電所の建設は本郷工業でも初めての取組だった。現場は6,000平米を越える広さに加え、傾斜地。常に10人を越え



滋賀県甲賀市土山町の商用機。最新式の太陽光追尾式架台システムを採用している

### 社歴

2013年3月 本郷工業入社。☆現場代理人。  
2017年12月 社内外関係者による現場代理人会総選挙で全従業員の中から選ばれ当選。  
2018年1月より会長就任し、現場代理人会運営のトップとして一年間指揮をとる。

### 本郷工業の再生可能エネルギー事業

太陽光発電を中心として2016年より本格的に始まった新事業。太陽光追尾式架台システムを自社で開発、販売している。同システムでは太陽の動きに合わせて巨大な太陽光パネルが動き、1年を通じて常に最大発電量を維持するシステムを持つ。最新のシステムでは両面太陽光パネルを採用し、地表からの反射光まで無駄にしないシステムを完成させた。2018年から滋賀県を中心に販売網を広げ、全国に展開していく。同システムの製造から設置場所の分譲造成まで、自社で提供できるのが強みとなっている。また、太陽光発電以外の自然エネルギーへの取組も始まっている。



展示会にて見学者に太陽光追尾式架台システムについて説明する佐藤

る作業スタッフが現場で動いていた。佐藤は「現場での準備作業・進捗管理は難しいものがあったが、みんなの助けを借りながらやり遂げることができた」。

### The solar power for him

米原市醒井地区に設置した追尾式架台システムは、県中小企業新技術開発プロジェクト補助金の認定を受けた研究対象発電所です。同地区とは防災協定も締結した。同地域に自然災害などがあった場合、この発電所が避難所になり、非常事態にあっても地域住民に電力を提供できる。地域の人たちにとってはすごい安心感です。排ガスも二酸化炭素も出さない。私たちが設置する太陽光発電システムが全国に広がり、地域のシンボルになってくれればうれいすね。

### NEXT PRESS

ぜひ、次号をお楽しみに!

### HONGO PRESS とは

「人こそ会社の財産、文化、未来」これは弊社の信念です。縁あって弊社で働いている社員ひとり一人の姿、人となりみな様に紹介することは、弊社の姿をみな様に知っていただくことと同じです。その役割をこのプレスは担っています。

筆者紹介：住田崇(すみだたかし) 元京都新聞記者。 民泊管理運営代行・Web制作会社(株)スタートレックKYOTO 代表取締役。京都市在住。

New  
chairman

Special  
Features  
of this  
month

Mamoru  
Satou

### 有限会社 本郷工業

◆草津施工管理事務所  
〒520-0058  
滋賀県草津市野路東6-3-4 プレジオ3 1F  
TEL:077-566-8200 FAX:077-566-2234

MAIL: [hongo@pop.biwako.ne.jp](mailto:hongo@pop.biwako.ne.jp)  
HP: [www.hongou-i.jp](http://www.hongou-i.jp)

◆近江八幡営業所  
〒523-0893  
滋賀県近江八幡市桜宮町206-23 プレジオ5 5F  
TEL:0748-53-2117 FAX:0748-43-2118



## 感謝祭2017

1年間の感謝を込めてお餅つきしました

日頃の感謝の気持ちを形に変えたいという思いから始まった感謝祭。2017年は12月23日に関係者や従業員の家族に来て頂き開催させて頂きました。感謝する相手は家族であったり、仲間であったりと様々な感謝を伝えられた1日となりました。当日は毎年恒例のお餅つき大会があり、子供から大人まで1年を振り返り感謝の気持ちを込めながら一生懸命お餅をつき、きなこや大根おろしなどで美味しくいただきました。他にも、2017年下半期の各賞受賞者の表彰や10月に新代理人となった清水代理人への一流の代理人の証であるプレザー授与と成人の祝い、一流のパートナーワーカー3名へのプレザー授与や、サンタクロースがやってきたりと、様々な感謝が形となり発表されました。2018年も感謝の気持ちを忘れずに進化していきたいと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。



### 2017年下半期 各賞受賞者

MVP賞	奥本 健二
安全推進優秀者賞	小林 義典
一流の現場代理人で賞	池田 仁一
笑顔コンテスト優秀者賞	田中 裕行
	川口 英雄
	清水 侑斗

他にも多数の受賞者発表がありました!!  
詳細はホームページ (<http://www.hongou-i.jp>)にて掲載中



2018年  
代理人会  
会長  
佐藤守  
祝就任

2017年12月23日感謝祭当日「2018年代理人会会長」の開票がおこなわれました。予選投票を全従業員で行い、予選通過者4名での本選挙を12月18日に行い、感謝祭当日に家族や関係者に見守られながらの開票ということもあり、会場全体が緊張につつまれました。結果、わずか3票差の接戦の中、本年の代理人会会長として『佐藤守代理人会会長』が誕生しました。佐藤代理人会会長の就任挨拶を聞き、従業員をはじめ従業員家族・関係者皆で祝福し2018年代理人会の更なる進化に期待できるひと時となりました。本年も本郷工業代理人会をよろしくお祈り申し上げます。

### 代理人会副会長



奥本 健二 杉井 義則 レズイトマ

### フルマソン出場

本郷工業では、健康維持・増進に向けての取り組みとして代理人のマラソン大会への参加を積極的に行っています。12月には「NAHAマラソン」「JALホノルルマラソン」に参加し42.195kmを完走することもでき、1年の締めくりに充実感や達成感を得ることができました。マラソンを通して得た充実感や達成感をエネルギーに、2018年も進化していきますので、よろしくお願い申し上げます。



平成三十年 一月吉日

有限会社 本郷工業

謹白

